２　教科に関する調査結果

調査結果概況　［国語Ａ：主として知識］

岡山市教育委員会－児童

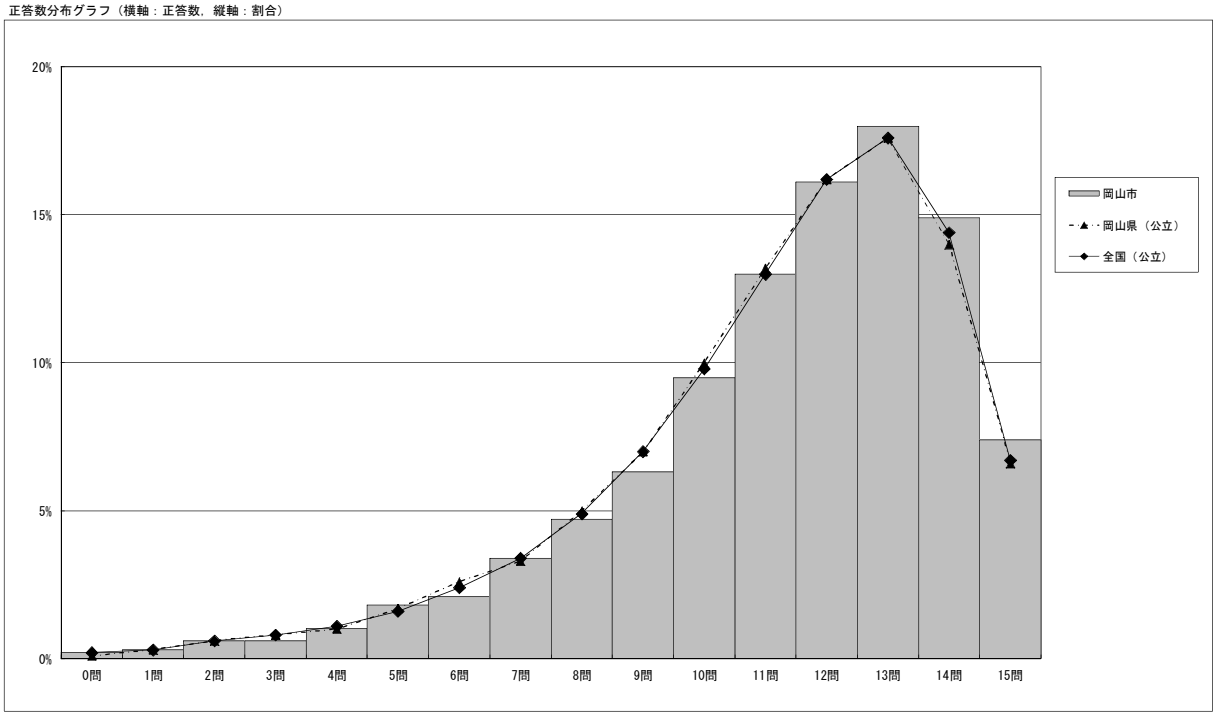
・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

※参考値として，在籍児童数，調査対象児童数，当日実施児童数，後日実施児童数，実施児童総数を示す。
※在籍児童数及び調査対象児童数は，学校から回答のあった児童の人数を集計した値。
※当日実施児童数は，４月１８日に実施した調査（国語Ａ）の解答用紙を提出した児童数。
※後日実施児童数は，４月１９日以降５月２日までに実施した調査（国語Ａ）の解答用紙を提出した児童数。
※実施児童総数は，当日実施児童数と後日実施児童数を合計した値。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,929	11.3 / 15	76	12.0	2.8
岡山県（公立）	15,906	11.2 / 15	75	12.0	2.8
全国（公立）	999,683	11.2 / 15	74.8	12.0	2.8

正答数集計値（左：児童数　右：割合(%)）		
０問	9	0.2
１問	19	0.3
２問	37	0.6
３問	37	0.6
４問	62	1.0
５問	104	1.8
６問	124	2.1
７問	199	3.4
８問	281	4.7
９問	371	6.3
１０問	566	9.5
１１問	772	13.0
１２問	954	16.1
１３問	1,070	18.0
１４問	885	14.9
１５問	439	7.4

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



調査結果概況　［国語Ｂ：主として活用］

岡山市教育委員会－児童

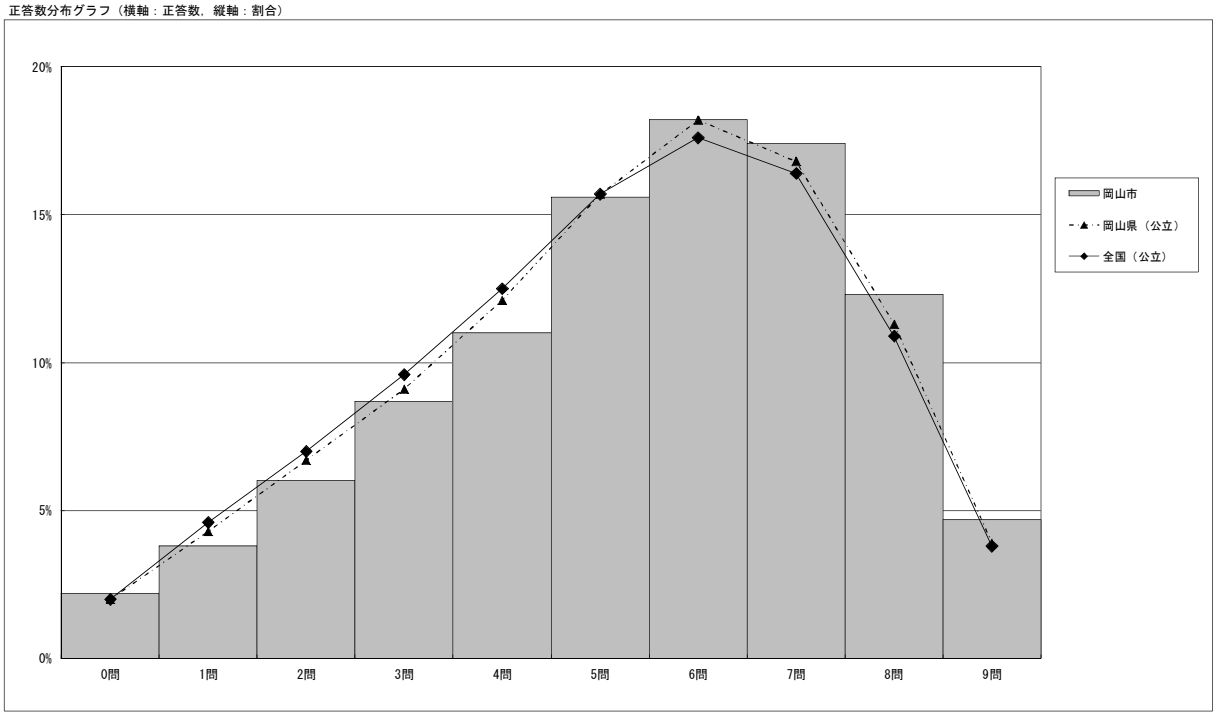
・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

※参考値として，在籍児童数，調査対象児童数，当日実施児童数，後日実施児童数，実施児童総数を示す。
※在籍児童数及び調査対象児童数は，学校から回答のあった児童の人数を集計した値。
※当日実施児童数は，４月１８日に実施した調査（国語Ｂ）の解答用紙を提出した児童数。
※後日実施児童数は，４月１９日以降５月２日までに実施した調査（国語Ｂ）の解答用紙を提出した児童数。
※実施児童総数は，当日実施児童数と後日実施児童数を合計した値。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,928	5.4 / 9	60	6.0	2.2
岡山県（公立）	15,903	5.2 / 9	58	6.0	2.2
全国（公立）	999,498	5.2 / 9	57.5	5.0	2.2

正答数集計値（左：児童数　右：割合(%)）		
０問	128	2.2
１問	227	3.8
２問	355	6.0
３問	518	8.7
４問	654	11.0
５問	924	15.6
６問	1,079	18.2
７問	1,031	17.4
８問	732	12.3
９問	280	4.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



問題別調査結果　［国語Ａ：主として知識］

岡山市教育委員会－児童

・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数	岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
	5,929	15,906	999,683

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		15	76	75	74.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	69.8	68.0	69.2
	書くこと	2	60.9	61.0	60.6
	読むこと	3	72.2	70.5	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	78.7	78.0	78.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	69.8	68.0	69.2
	書く能力	2	60.9	61.0	60.6
	読む能力	3	72.2	70.5	70.2
	言語についての知識・理解・技能	11	78.7	78.0	78.0
問題形式	選択式	9	72.8	71.9	71.7
	短答式	6	79.7	79.2	79.4
	記述式	0			

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は，実際の問題数とは一致しない場合がある。

【全国学力・学習状況調査の偏差値】
（国語・A問題：主として「知識」に関する問題）
平成28年度　49　→　平成29年　50
※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標
（平成32年度目標値51以上）

【児童質問紙から】	H29 岡山市（全国）	H28 岡山市（全国）
○国語の勉強は好きだ	58.8(60.5)	55.8(58.3)
○国語の授業の内容はよく分かる	81.1(82.2)	78.9(80.7)
○国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つ	89.1(87.9)	89.8(89.2)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等 話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	評価の観点 国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率(%) 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	無解答率(%) 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
1	学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	互いの話を聞き，考えの共通点や相違点を整理しながら，進行に沿って話し合う	3・4 オ					○				○			69.8	68.0	69.2	0.1	0.1	0.1
2一	お礼の気持ちを伝えるために，どのような内容を書いているのか，書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ，内容の中心を明確にして，詳しく書く		5・6 ウ					○			○			80.8	79.5	79.7	0.1	0.1	0.1
2二	手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する	手紙の構成を理解し，後付けを書く		5・6 イ					○			○			40.9	42.5	41.5	0.3	0.2	0.3
3	学校新聞を書くために，「時の記念日」についての【資料】から，小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	目的に応じて，文章の中から必要な情報を見付けて読む			3・4 イ					○		○			76.2	74.1	74.4	0.6	0.5	0.5
4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える			5・6 エ	3・4 (1)ア (ア)				○	○	○			82.8	81.7	79.4	0.4	0.3	0.5
4二	グループの話合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する				5・6 エ	3・4 (1)ア (ア)				○	○	○			57.6	55.9	57.0	0.7	0.6	0.7
5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（三度目の正直）	ことわざの意味を理解して，自分の表現に用いる				3・4 (1)ア (イ)					○	○			90.0	89.7	90.0	0.7	0.7	0.8
5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（もちはもち屋）					3・4 (1)ア (イ)					○	○			83.7	83.7	83.6	1.0	0.9	1.0
6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む				5・6 (1)ア (ア)					○	○			72.9	71.8	71.1	1.6	1.5	1.6
7（1）	漢字を書く（参加たいしょう）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				5・6 (1)ウ (ア)					○		○		42.4	39.4	42.0	8.7	8.7	10.6
7（2）	漢字を書く（４年生のきぼう者）					5・6 (1)ウ (ア)					○		○		83.4	83.3	80.0	3.6	3.4	4.6
7（3）	漢字を読む（申しこみ期限）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				5・6 (1)ウ (ア)					○		○		95.3	95.1	94.5	2.6	2.5	3.0
7（4）	漢字を読む（事務室前）					5・6 (1)ウ (ア)					○		○		87.1	87.2	88.8	2.6	2.6	3.0
7（5）	漢字を書く（箱がおいてあります）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				5・6 (1)ウ (ア)					○		○		74.9	75.2	76.8	11.4	10.8	11.8
7（6）	漢字を読む（指示）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				5・6 (1)ウ (ア)					○		○		95.2	95.0	94.5	2.6	2.5	2.9

問題別調査結果　［国語Ｂ：主として活用］

岡山市教育委員会ー児童

・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数	岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
	5,928	15,903	999,498

【全国学力・学習状況調査の偏差値】
（国語・B問題：主として「活用」に関する問題）
平成28年度　50　→　平成29年　51
※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標
（平成32年度目標値51以上）

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		9	60	58	57.5
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	67.3	66.8	64.9
	書くこと	5	55.9	54.5	53.4
	読むこと	3	50.6	49.0	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	43.9	43.1	41.7
	話す・聞く能力	3	67.3	66.8	64.9
	書く能力	5	55.9	54.5	53.4
	読む能力	3	50.6	49.0	49.2
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	5	66.1	64.5	64.6
	短答式	1	74.4	72.4	69.2
	記述式	3	43.9	43.1	41.7

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は，実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等 話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	評価の観点 国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率(%) 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	無解答率(%) 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
１一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として，適切なものを選択する	動画を見る目的を捉えることを通して，目的や意図に応じ，適切な言葉遣いで話す	5・6イ					○				○			77.6	77.4	77.2	0.5	0.4	0.5
１二	グループの話合いの中で，石田さんたちは，スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える	5・6イ					○					○		74.4	72.4	69.2	3.1	3.5	3.8
１三	折り紙のみりょくについて，スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く	目的や意図に応じて，話の構成や内容を工夫し，場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す	5・6イ	5・6ウ			○	○	○					○	49.9	50.7	48.4	2.2	2.4	2.6
２一	【緑のカーテン作りへの協力のお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	目的や意図に応じて，文章全体の構成を考える		5・6イ					○			○			74.0	71.7	70.8	0.8	0.7	0.7
２二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を，【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	目的や意図に応じ，引用して書く		5・6エ					○			○			73.9	71.6	70.9	3.3	3.0	3.2
２三	「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の［　イ　］に入る内容を，中学生からの【アドバイス】を基に書く	目的や意図に応じ，必要な内容を整理して書く		5・6ウ			○		○					○	34.8	33.4	33.0	2.7	2.8	2.8
３一	「きつねの写真」を読み，登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え，［　Ａ　］に当てはまる言葉として適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉える			5・6エ					○		○			75.7	74.7	75.9	3.1	2.7	2.6
３二	「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおけるア・イの発言の意図として，適切なものをそれぞれ選択する	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える			5・6オ					○		○			29.1	26.8	28.0	3.6	3.1	3.2
３三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に，松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめる		5・6ウ	5・6エ		○		○	○				○	46.9	45.3	43.7	18.2	18.1	19.4

【調査結果から】

◆「話すこと・聞くこと」に関する設問については，正答率が全国平均を上回っている。授業の中で互いの共通点や相違点を整理しながら話し合ったり話の構成を工夫して話したりする経験ができていると考えられる。

◆「書くこと」に関する「手紙の後付けに適切なものを選択する」設問について，４０％程度の正答率である。手紙の構成を理解し，後付けを書くことに課題がある。依頼状や案内状，礼状などの実用的な文章としての手紙を書くことが必要である。一方で，「緑のカーテン作りへの協力のお願い」に関する設問については，正答率が全国平均を上回っている。目的や意図に応じて文章全体の構成を考えたり引用して書いたりする経験ができていると考えられる。

◆「読むこと」に関する「好きな俳句を紹介する」設問について，正答率が全国平均を上回っている。俳句の情景や表現の特徴を捉えて読む経験ができていると考えられる。一方で，「きつねの写真を読み，登場人物の相互関係と場面についての描写を捉える」設問については，正答率が全国平均を下回っている。心に残った叙述を取り上げ，その叙述をどのように解釈したのか，自分の考えを明らかにしながら読みを広げていくことができるように指導することが求められる。また，「読んだあとの話合いにおける発言の意図を選択する」設問について，３０％に満たない正答率である。相手の考えがどの叙述に基づいているのかや自分の理解が正しいのかどうかを明確にするために質問することで考えを広げたり深めたりすることができるように指導することが大切である。

◆「言語についての知識・理解・技能」に関する「漢字を読む・書く」設問について，正答率が全国平均を上回ったものが多いが，無解答率が高くなっていることから，引き続き，当該学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく使うことができるように指導することが重要である。

調査結果概況　［算数Ａ：主として知識］

岡山市教育委員会－児童

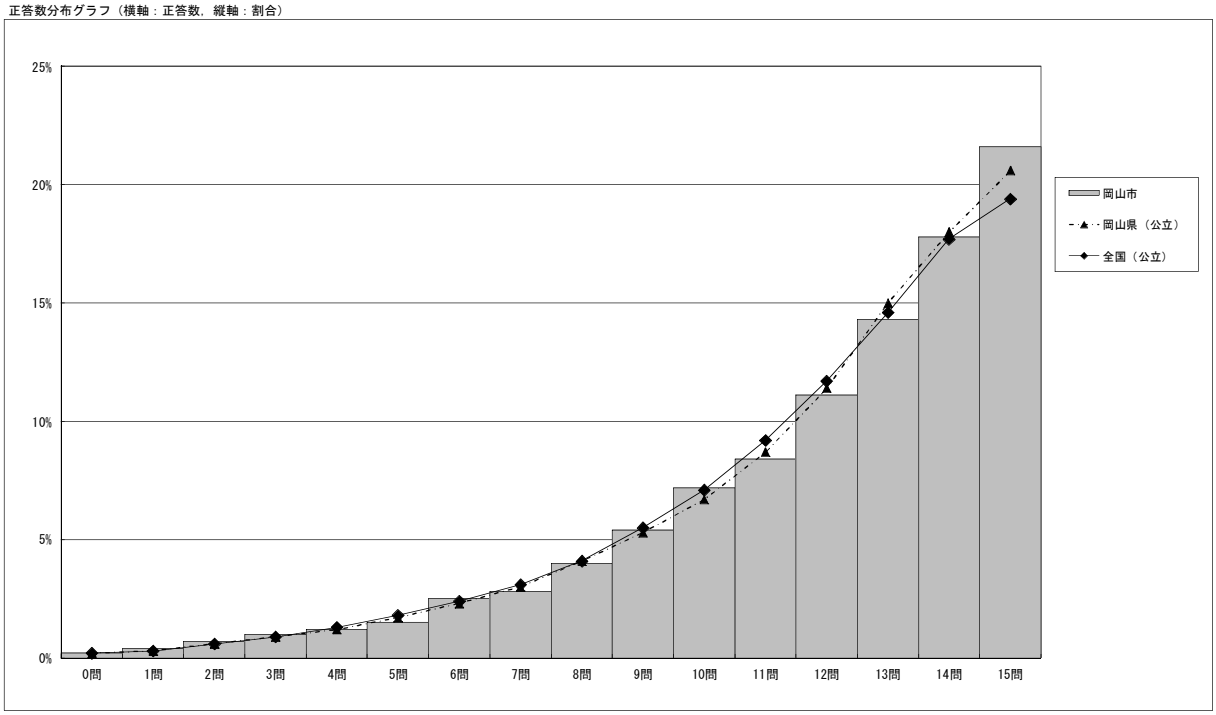
・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

※参考値として，在籍児童数，調査対象児童数，当日実施児童数，後日実施児童数，実施児童総数を示す。
※在籍児童数及び調査対象児童数は，学校から回答のあった児童の人数を集計した値。
※当日実施児童数は，４月１８日に実施した調査（算数Ａ）の解答用紙を提出した児童数。
※後日実施児童数は，４月１９日以降５月２日までに実施した調査（算数Ａ）の解答用紙を提出した児童数。
※実施児童総数は，当日実施児童数と後日実施児童数を合計した値。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,930	11.9 / 15	79	13.0	3.1
岡山県（公立）	15,908	11.9 / 15	79	13.0	3.1
全国（公立）	999,723	11.8 / 15	78.6	13.0	3.1

正答数集計値（左：児童数　右：割合(%)）		
０問	9	0.2
１問	25	0.4
２問	40	0.7
３問	61	1.0
４問	69	1.2
５問	89	1.5
６問	147	2.5
７問	166	2.8
８問	236	4.0
９問	319	5.4
１０問	429	7.2
１１問	498	8.4
１２問	658	11.1
１３問	847	14.3
１４問	1,055	17.8
１５問	1,282	21.6

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



調査結果概況　［算数Ｂ：主として活用］

岡山市教育委員会－児童

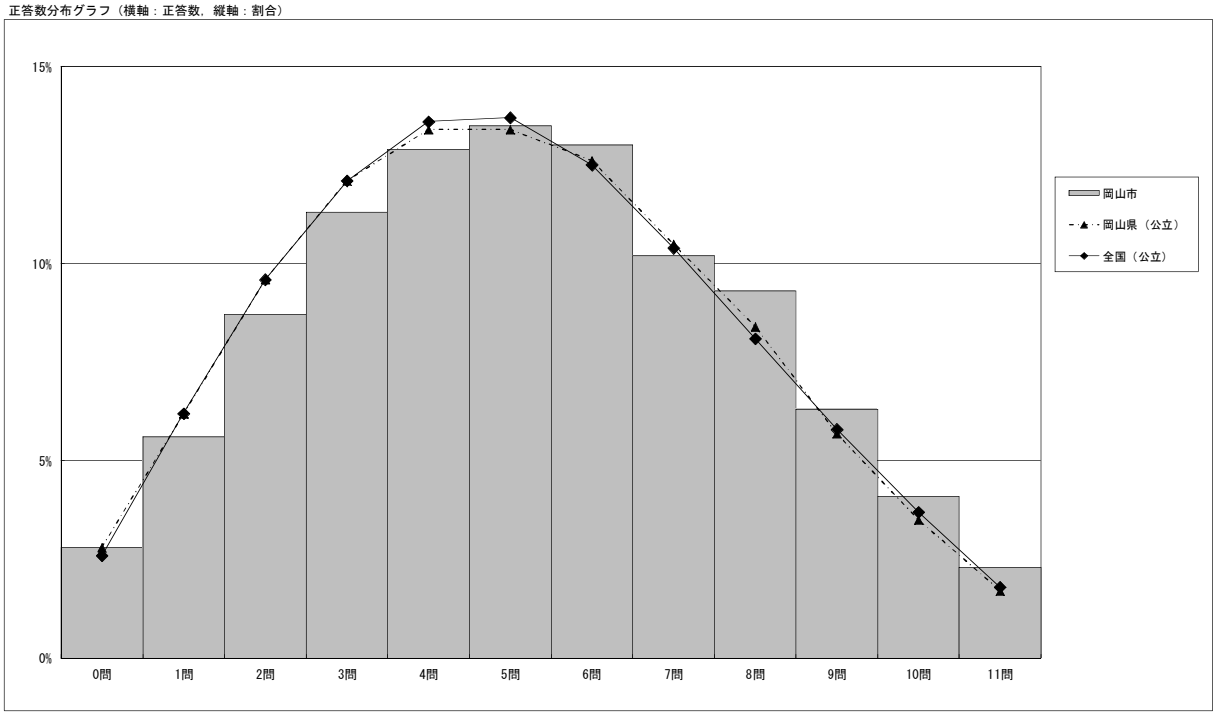
・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

※参考値として，在籍児童数，調査対象児童数，当日実施児童数，後日実施児童数，実施児童総数を示す。
※在籍児童数及び調査対象児童数は，学校から回答のあった児童の人数を集計した値。
※当日実施児童数は，４月１８日に実施した調査（算数Ｂ）の解答用紙を提出した児童数。
※後日実施児童数は，４月１９日以降５月２日までに実施した調査（算数Ｂ）の解答用紙を提出した児童数。
※実施児童総数は，当日実施児童数と後日実施児童数を合計した値。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,929	5.2 / 11	48	5.0	2.7
岡山県（公立）	15,909	5.0 / 11	46	5.0	2.6
全国（公立）	999,451	5.1 / 11	45.9	5.0	2.6

正答数集計値（左：児童数　右：割合(%)）		
０問	167	2.8
１問	330	5.6
２問	516	8.7
３問	671	11.3
４問	765	12.9
５問	803	13.5
６問	773	13.0
７問	602	10.2
８問	552	9.3
９問	371	6.3
１０問	241	4.1
１１問	138	2.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



問題別調査結果　［算数Ａ：主として知識］

岡山市教育委員会－児童

・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数	岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
	5,930	15,908	999,723

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		15	79	79	78.6
学習指導要領の領域	数と計算	8	81.1	82.4	80.6
	量と測定	2	68.6	67.0	68.8
	図形	2	82.0	81.2	81.1
	数量関係	5	81.9	81.6	79.6
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	8	78.9	79.5	77.7
	数量や図形についての知識・理解	7	79.6	78.9	79.7
問題形式	選択式	7	79.4	78.5	79.6
	短答式	8	79.1	79.8	77.8
	記述式	0			

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について
各区分の問題数を合計した数は，実際の問題数とは一致しない場合がある。

【全国学力・学習状況調査の偏差値】
（算数・A問題：主として「知識」に関する問題）

平成28年度	50	→	平成29年	50

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標
（平成32年度目標値51以上）

【児童質問紙から】	H29 岡山市（全国）	H28 岡山市（全国）
○算数の勉強は好きだ	65.5(65.9)	64.4(66.0)
○算数の授業の内容はよく分かる	79.8(80.6)	78.5(80.2)
○算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つ	90.9(89.1)	91.3(89.9)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域 数と計算	量と測定	図形	数量関係	評価の観点 算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率（%） 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	無解答率（%） 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
１（１）	リボンを２ｍ買ったときの代金と３ｍ買ったときの代金を書く	具体的な問題場面において，乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している	3A (3)イ			5D (1)ア				○		○		96.9	96.8	96.9	0.5	0.5	0.4
１（２）	買ったリボンの長さと，１ｍ当たりのリボンの値段と，代金が，それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	１より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し，数量の関係を数直線に表すことができる	5A (3)ア							○	○			66.1	66.1	69.9	1.7	1.8	1.8
１（３）	６０×０．４を，６０×４を基にして考えるときの，正しい積の求め方を選ぶ	小数の乗法の計算において，乗数を整数に置き換えて考えるときの，乗法の性質を理解している	5A (3)イ							○	○			93.1	92.7	91.0	0.6	0.6	0.7
２（１）	１２３×５２を計算する	整数の乗法の計算をすることができる	3A (3)イ						○			○		84.6	85.1	85.2	0.6	0.4	0.5
２（２）	１０．３＋４を計算する	小数と整数の加法の計算をすることができる	4A (5)イ						○			○		76.4	77.0	79.7	0.5	0.4	0.4
２（３）	６＋０．５×２を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4A (5)ウ			4D (2)ア			○			○		74.3	78.4	66.6	0.7	0.5	0.6
２（４）	５÷９の商を分数で表す	商を分数で表すことができる	5A (4)イ						○			○		71.0	77.0	69.2	3.1	2.5	3.9
３	８と１２の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5A (1)イ						○			○		86.6	85.8	86.2	1.3	1.2	1.2
４	重さ，長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	任意単位による測定について理解している		1B (1)アイ 3B (1)イ						○	○			74.0	71.7	70.7	0.7	0.6	0.6
５	示された平行四辺形の面積の，半分の面積である三角形を正しく選ぶ	高さが等しい平行四辺形と三角形について，底辺と面積の関係を理解している		5B (1)ア						○	○			63.3	62.3	67.0	1.3	1.1	1.3
６	円を使って正五角形をかくとき，円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	正五角形は，五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している			5C (1)アウ					○		○		75.8	75.3	75.5	2.2	2.2	2.3
７	立方体の展開図から，示された面と平行な面を選ぶ	立方体の面と面の位置関係を理解している			4C (2)アイ					○	○			88.2	87.1	86.7	1.0	1.0	1.0
８	はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの，問題場面を表す式を選ぶ	未知の数量を表す□を用いて，問題場面を除法の式に表すことができる				3D (2)イ			○		○			85.2	83.5	83.6	1.3	1.3	1.4
９（１）	出席番号１番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	資料を二次元表に分類整理することができる				4D (4)ア			○		○			85.9	86.2	88.0	2.7	2.4	2.6
９（２）	二次元表の合計欄に入る数を書く	資料から，二次元表の合計欄に入る数を求めることができる				4D (4)ア			○			○		67.2	63.0	62.8	5.0	4.8	5.1

問題別調査結果　［算数Ｂ：主として活用］

岡山市教育委員会ー児童

・以下の集計値／グラフは，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数	岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
	5,929	15,909	999,451

【全国学力・学習状況調査の偏差値）】
（算数・B問題：主として「活用」に関する問題）
平成28年度　50　→　平成29年　50
※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標
（平成32年度目標値51以上）

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		11	48	46	45.9
学習指導要領の領域	数と計算	5	54.3	52.6	52.8
	量と測定	2	51.7	49.5	47.0
	図形	1	13.0	11.6	13.2
	数量関係	8	41.5	39.9	40.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	47.5	45.6	45.4
	数量や図形についての技能	0			
	数量や図形についての知識・理解	2	47.6	47.4	48.6
問題形式	選択式	3	53.2	52.8	54.1
	短答式	3	63.5	61.8	61.7
	記述式	5	34.5	32.2	31.6

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は，実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域 数と計算	量と測定	図形	数量関係	評価の観点 算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率（%） 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	無解答率（%） 岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
１（１）	カードの差が４の場合の，２けたのひき算の式と答えを書く	示された条件を基に，適切な式を立てることができる	2A (2)ア					○				○		76.8	75.4	76.0	1.6	1.9	2.0
１（２）	示された考えを基に，５４－４５の場合で残る部分を図に表す	示された考えを解釈し，数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを，図に表現することができる	2A (2)ア 5A (1)イ					○				○		84.2	82.8	81.8	3.7	3.6	3.9
１（３）	２けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く	問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え，そのきまりを記述できる	5A (1)イ			4D (2)イウ 5D (2)		○					○	39.5	38.3	38.6	16.2	15.6	14.9
２（１）	小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の，料金の差の求め方と答えを書く	料金の差を求めるために，示された資料から必要な数値を選び，その求め方と答えを記述できる	2A (2)ア 3A (2)イ 3A (3)イ			3D (3)		○					○	41.2	39.6	40.4	6.9	6.8	6.4
２（２）	１３本の直線を使う場合，手紙の用紙の長い辺を３等分するのは，何本目の直線と交わった点かを書く	直線の数とその間の数の関係に着目して，示された方法を問題場面に適用することができる	3A (4)ア 5A (1)イ					○				○		29.5	27.1	27.4	6.1	6.0	6.0
３（１）	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる		5B (3)ア		4D (2)ア				○	○			68.0	67.2	67.9	1.5	1.3	1.1
３（２）	仮の平均の考えを活用して，測定値の平均を求める	仮の平均を用いた考えを解釈し，示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる		5B (3)ア		4D (2)ア		○					○	35.4	31.8	26.1	10.3	10.6	12.7
４（１）	示された式の中の数が表す意味を書き，その数が表のどこに入るかを選ぶ	示された式の中の数の意味を，表と関連付けながら正しく解釈し，それを記述できる				4D (4)ア		○					○	43.4	40.0	39.8	5.3	5.3	4.8
４（２）	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ	割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる				3D (3)ア 5D (4)				○	○			27.2	27.6	29.3	5.4	5.4	4.6
５（１）	「最小の満月の直径」の図に対して，「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	示された割合を解釈して，基準量と比較量の関係を表している図を判断できる				5D (3)		○			○			64.3	63.5	65.0	6.6	6.5	5.5
５（２）	与えられた情報から，基準量，比較量，割合の関係を捉え，「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び，選んだわけを書く	身近なものに置き換えた基準量と割合を基に，比較量を判断し，その判断の理由を記述できる			3C (1)ウ	5D (3)		○					○	13.0	11.6	13.2	9.1	9.1	8.7

【調査結果から】

◆「図形」Ａ６，Ａ７に関する設問について，正答率が全国平均を上回っている。実際の正多角形をかいたり，具体物を用いた立体図形の構成を考えたりする活動を通して，正多角形の性質の理解や，立体図形の面と面の位置関係について実感をともなった学習ができていると考えられる。

◆「量と測定」「数量関係」に関する「仮の平均の考えを活用して，測定値の平均を求める」Ｂ３（２）の設問について，３５%の正答率であるが，全国平均に比べて，９ポイント高く，無解答率が低くなっている。平均を求める際に，グラフ，式，言葉などを関連付けて式の中の数の意味を解釈し，説明する学習活動が大切である。

◆「数と計算」に関する「１０．３＋４を計算する」Ａ２（２）の設問について，正答率が全国平均に比べて，３ポイント低くなっている一方，「１０．７」と解答したものが３ポイント高くなっている。平成２８年度調査においても課題であったところであり，乗法と加法の筆算を比較するなど，位をそろえて計算する理由を説明する活動が重要である。

◆「数量関係」に関する「学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ」Ｂ４（２）の設問について，正答率が低い。課題を解決するために，目的に合った適切な表やグラフを選択して表したり，読み取ったり，関連付けて解釈したりするなど，表やグラフを活用する学習活動を取り入れる必要がある。